

Futoshi SUGAWARA

MUROMACHI ART COURT

2010.3.16 — 3.21

"Exodus Landscape" (detail), 2010

EXODUS 山水

Futoshi SUGAWARA

菅原布寿史「EXODUS 山水」展

— 彫刻と映像によるインスタレーション —

2010.3.16 [火] — 3.21 [日] (会期中無休)

11:00 — 20:00 (最終日は18:00まで)

*初日は公開作庭 (展示作業の公開)

<http://project-noa.com/exodus>

かつての旅の中で、古代遺跡など国内外の文化遺産に出会ったときに作家を驚かせたのは、遥か彼方に理想郷を求めたり、死後の世界での再生と幸福を願うなど、人類がいかに不確かで無意味とすらいえるようなことに、膨大な時間とエネルギーを費やしてきたかということでした。ところがその後、狭心症の発作を契機に彼岸世界に思いを馳せる人類特有の精神活動が、自身にとっても切実な問題と感ずるようになります。そこで作家がとられた生死をめぐる観念は、生存不能状況下に仮眠カプセルや棺に入るか、または、蛹や繭、種子のようなかたちをとって仮死状態となり、来るべき時と場所を待って再生しようというものでした。

本展では、個人もしくは人類の彼岸世界への想いをテーマに、山水庭園、古代遺跡、SFなど過去・現在・未来の重層的イメージがインスタレーションとして展開します。

そこにはまた、窓からの採光による昼間から、照明と映像による夜間の展示へと会場内が徐々に変容する仕掛けが施され、個人や社会をとりまく閉塞状況における死と再生の過程も暗示されます。

昼(生)と夜(死)が均衡になるこの季節、会場で皆さんの想いを投影させてみては如何でしょうか？

菅原布寿史 <http://sugaft.com>

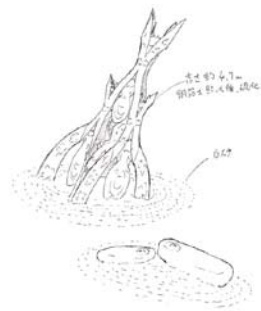
1962年京都生まれ。京都市立芸術大学大学院絵画専攻日本画修了後、アジア各地の遺跡を巡る旅で出会った美術をサンプルにして解体・再構成した平面・立体作品やインスタレーションの制作をはじめ。シリーズ作品には、シルクロードの仏教壁画をもとにした「菩薩シリーズ」や、国宝源氏物語絵巻による「迷宮シリーズ」等がある。本展では、「菩薩シリーズ」の彫刻(約4.8m)が中心となる。

supported by
Neuron of Artists
project **No!**

新視角
Panoramic Eyes

KYOTO
ART
CENTER
京都芸術センター

京都芸術センター
制作支援事業
映像協力: 沢鴻(新視角)
制作協力: 三宅之功



1. "Eva", "Liith", 2004, Installation at Ishida-Taiseisy Hall

2. "Exodus Landscape" concept drawing, 2009

3. "Fukugi-Joka Furnishings", 2008, Installation at Gallery Iteza

4. "White Picture Furnishings", 2007, Installation at Kyoto Seika University Gallery Fleur



MUROMACHI
ART
COURT

〒600-8491
京都市下京区四条室町鶏鉦町
TEL:075-351-8616 (会期中のみ)

■地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」
下車26番出口より徒歩2分
■京都市バス「四条烏丸」下車、徒歩2分